

[普及事項]

成果情報名：県北部に適したリンゴ「ファーストレディ」の品種特性

研究機関名 果樹試験場 総務企画室(かづの果樹センター)
担 当 者 渡会直人・中村佐之

[要約]

リンゴ「ファーストレディ」は、県北部では9月上旬に成熟する早生品種である。果皮は赤色で着色に優れ、果実硬度も高く、糖度15%前後、酸度0.5g/100ml程度と食味は良好で、県北部での適応性が高い。

[キーワード]

リンゴ・早生品種・ファーストレディ

[普及対象範囲]

県北部リンゴ栽培地域

[ねらい]

主要な早生品種である「つがる」は、近年、温暖化などの影響から県北部においても着色不良や果実の軟化等による品質低下が問題となっている。そこで、「つがる」にかわる早生品種として「ファーストレディ」の県北部における適応性を明らかにする。

[成果の内容及び特徴]

- 1 県北での開花期は、「ふじ」、「つがる」より3日遅い(表1)。
- 2 果実の成熟期は、県北部においては9月上旬で「つがる」に比べ7日ほど早い(表2)。果皮は濃い赤色で、着色管理は容易である。玉揃いも良好で、心カビやつる割れは見られない。
- 3 果重は279～330gで「つがる」と同程度である。硬度は16.8～18.7lbs、糖度は14.4～15.6%、リンゴ酸は0.43～0.59/100mlで、いずれも「つがる」より高く食味は甘酸適和である(表2)。

[成果の活用上の留意点]

- 1 S遺伝子型はS3S5で「ふじ」や「つがる」等の主要品種と相互に交配和合性を示す。
- 2 高温年は、みつ症が見られる場合がある。また、年によって、こうあ部から赤道面にかけてサビの発生が見られる場合がある。
- 3 「ふじ」と比較して開花期が遅いため、人工受粉により結実の確保を図る必要がある。

[具体的なデータ等]

表1 県北部における「ファーストレディ」と主要品種の初期生態(かづの果樹センター)

品種	樹齢/台木	発芽	開花	満開
ファーストレディ	10年/M. 26/マルハカイトウ	4月13日	5月11日	5月14日
つがる	18年/M. 9A/マルハカイトウ	4月10日	5月8日	5月13日
ふじ	37年/M. 26/マルハカイトウ	4月11日	5月8日	5月13日

※平成30～令和元年の2か年平均(かづの果樹センター)

※樹齢は令和元年時点

表2 県北部における「ファーストレディ」の果実品質(かづの果樹センター)

調査年	収穫日	果重 (g)	硬度 (lbs)	糖度 (Brix%)	リンゴ酸 (g/100ml)	デンプン ^Z (指数)
平成27年	9月3日	294	17.4	14.9	0.55	2.5
平成28年	8月30日	330	18.2	14.9	0.44	1.8
平成29年	9月12日	279	18.4	15.6	0.59	3.8
平成30年	9月4日	317	16.8	14.4	0.55	3.3
令和元年	9月6日	298	18.7	15.2	0.43	2.5
つがる(対照)	9月13日	320	13.5	12.9	0.40	2.5

※つがる(対照)は平成27～令和元年の5か年平均。

^Z: デンプンはヨードカリ反応による指数(0: なし、1: 少～5: 多)

[その他]

研究課題名: 果樹産地再生の基盤となる新品種の育成と選抜

研究期間: 平成28年度～令和元年度

予算区分: 県単